これからの青山地区の自治会

～もっと安心、もっと安全に、みんなでつくる地域へ～

青山地区の住民の皆さまへ

自治会は、何のためにあるのでしょうか？

私たちの自治会は、住民の皆さんが
安全に、安心して、気持ちよく暮らせる
地域をつくることを一番大切な役割と
考えています。



皆さんには、仕事や家庭、年齢や健康状態など、
それぞれの事情があります。
だからこそ、自治会活動が生活の負担になりすぎないよう、
無理なく参加・協力できる自治会へと変えていきたいと考えています。

これから大切にしたい3つのこと

1 安全・安心を守る

防災・防犯・高齢者の見守りなど、
暮らしを守る活動を大切にします。



2 無理な負担を減らす

会議や行事を見直し、
役員や住民の負担を減らします。



3 地域みんなで支え合う

行政やボランティア団体などと
協力し、自治会だけで抱え込まない
仕組みをつくります。



私たちが目指す自治会は、

「協力しなければならない自治会」から
「協力したいと思える自治会」へ。

「役員になるのが負担な自治会」から
「自分や家族、大切な人のための自治会」へ。

必要な活動は大切にしながら、変えるべきところは変えていく。
住民にも役員にもやさしい、住みよい青山地区を皆さんと一緒につくっていきましょう。

青山地区自治会連合会
会長　髙橋 伸彰

今年度、青山地区自治会連合会が進めてきた改革

～役員の負担を減らし、よりクリーンで開かれた自治会へ～

住みよい青山地区のために

今年度、青山地区自治会連合会では、これまでの運営方法を見直し、次のような改善を進めできました。

1 お金の使い道を分かりやすく

自治会連合会の収支について、各丁目会長への報告・相談を大切にし、透明性のある会計運営を進めています。



2 防犯パトロールの負担を軽減

防犯パトロールは、各丁目会長と防犯連絡委員（生活安全推進委員）を中心に実施する体制とし、一般役員の参加負担をなくしました。



3 行事の準備を簡素化

夏まつりなどのテント設営や準備方法を見直し、必要な動員人数を減らすことで、役員の負担軽減を進めています。



4 各委員会の活動を見直し

住民協定委員会や保健衛生推進協議会などの組織・役割を整理し、実際に活動できる体制づくりを進めています。



5 地域のまちづくりに自治会の声を反映

まちづくり協議会（まち協）の一員として、自治会の立場から積極的に意見を伝え、地域づくりに参加しています。



6 各丁目が相談・協力できる連合会へ

連合会の定例会などで、各丁目会長が自由に意見を交換し、課題を相談・共有できる運営を進めています。



「これまでどおり」ではなく、「今の暮らしに合った自治会」へ。

これからも、必要な活動は大切にしながら、無理や無駄を減らし、よりよい自治会を目指していきます。変えるべきところは変えていきます。